

学科の教育目標

スポーツ科学科（昼間部2年制）

養成目的

少子高齢社会の急速な進展に伴う健康・体力づくりの必要性や、スポーツ人口の増加と多様化、地域スポーツの振興、競技技術の向上など、スポーツに関わる環境は大きく変化してきた。このような状況を踏まえ、スポーツ推進を目的とした「スポーツ基本法」が平成23年に施行された。競技スポーツや生涯スポーツのさまざまな場面において、コンディショニング、障害の予防と管理、リハビリテーション等の多様なニーズに対応できる質の高い人材が求められている。

本学科では、スポーツ・医療・健康分野においてスポーツ・身体活動をさまざまな側面から科学的にとらえ、分析と対処法、さらに対象に応じた適切な運動プログラムを提供できる人材を育成することを目的としている。さらに専門性を高める専攻別カリキュラムを通して、業界ニーズに対応できる実践力の向上を図り、ヒューマンサポートのできる人材育成に努めている。各専攻の内容は、以下の通りである。

- (1) アスレティックトレーナー専攻 : トレーニング指導やコンディショニング、障害の予防・体調管理などを学び、スポーツ選手のサポートなどスポーツ現場での活躍を目指す。
- (2) メディカルトレーナー専攻 : スポーツ外傷やスポーツ障害の治療・施術後のリハビリ、運動指導などの技術を学び、病院やクリニックなどの医療現場での活躍を目指す。
- (3) スポーツフィットネス&インストラクター専攻 : 運動指導や健康指導の専門知識・技術を学び、健康増進施設やフィットネスクラブでの運動指導者やインストラクターを目指す。
- (4) スポーツチャイルド専攻 : 成長期の子どもたちへの指導法などを学び、運動や遊びを通じて子どもたちの心身の発育をサポートしていく仕事を目指す。

教育目的（ミッション）

本学科の職業教育は、スポーツ医学・運動生理学の知識をベースにスポーツ・健康・医療・福祉に関する分野において科学的に分析・対処できる知識・技術を身に付けた行動力のある人材を養成する。

取得目標資格

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| (1) 日本赤十字社救急法救急員 | (6) スポーツリーダー [適応コース承認校] |
| (2) アスレティックトレーナー [適応コース承認校] | (7) 健康ケアトレーナー [養成認定校] |
| (3) 健康運動実践指導者 [養成認定校] | (8) 介護予防運動トレーナー [養成認定校] |
| (4) JATI トレーニング指導者 [養成認定校] | (9) NSCA パーソナルトレーナー (CPT) |
| (5) スチューデントトレーナー中級/上級 [養成認定校] | |

就職分野

スポーツ施設、フィットネスクラブ、健康増進施設、トレーナー派遣会社、スポーツ医科学研究所、スポーツ指導員派遣会社、アウトドアスポーツ関連企業、レジャー関連企業、イベント企画会社、リラクゼーション関連企業、障害者スポーツ施設、スポーツ用品関連企業、栄養・健康食品関連企業、病院・クリニック、整骨院・鍼灸院、運動療法施設、高齢者施設 等

職 種

アスレティックトレーナー、フィットネスインストラクター、リハビリトレーナー、パーソナルトレーナー、ジュニア指導員、介護予防運動指導員、健康イベント企画スタッフ 等